

# ほっぴ・ステップ・Jump!

## (保っ父)

1997.05.09 Vol.29 発行：北海道の子どもと保父の会

### 巻頭言

平成9年度が始まりました。みなさんいかがお過ごしですか。仕事は順調ですか。「今年からは」と学生気分から抜け出してがんばろうと思っているフレッシュマン、「今年こそは」と昨年度の反省をもとに気分を新たにしている人、「今年も」と更に飛躍しようと思っている人...、様々だと思います。

さて私はといえば、年長を卒園させて一段落し、希望の“地域子育て支援事業”の担当になりました。毎日保育園にあそびに（親はストレス解消に）やってくる親子を相手に、子どもとは体操のお兄さんよろしく元気に歌ったり、踊ったり、走ったり、お母さんとは育児相談から世間話しまで、お話好きな先生役を上手にこなしています。気がつくとき若くてきれいなお母さんを見つけてはニヤッとしたりして、31歳にして、真の“（嫌らしい）おじさん”になりつつある今日この頃です。

この事業のひとつに、要請に基づいて地域の子育てサークルに出向いていってあそびの紹介をする“子育てサークル支援事業”というのがあります。保健センター（現在は保健所のことをこういう）の健診で呼びかけられたものや、育児雑誌で呼びかけてできたもの、“地域子育て支援事業”から生まれたもの等、近年市内にはかなりの数のサークルができています（近々丸善メイツというところから、実数や実態を調べた本が出版されるようです）。

その“支援”に、4月は3回出かけてきました。どのサークルもリーダーを中心に20組位の親子が集っていました。概ね同じくらいの年齢の子が集まっていて（1回目は1歳前後、2回目は1歳半から2歳、3回目は5か月から8か月）、私たち（2人で行っている）が来るのを待っていてくれます。手あそびやわらべうた、親子あそびや手作りおもちゃの紹介、ペープサートやエプロンシアターを見せたり、体操したりと、30分から1時間の間、汗びっしょりになってがんばります。出かけることに慣れていないことや「こんにちは一、みそのほいくえんでーす。」と無理してテンションを高くして、まるで芸人の営業のような、一種のもの淋しさがあがり、辛くなることもあるのですが、終わってから感想を聞くと、どこもみんな「楽しかった」「また来てください」と喜んでくれます。

子育てに疲れ悩む母と子がサークルをつくり、互いに悩みを喋りまくってそれでストレスを解消出来ればいいのですが、実際はその組織をつくることで中心となる人は子育てとは別のストレスを感じ、集うことで母の間でトラブルが起きたり、集まったはいがマンネリ化してしまったり（まるで保父の会みたい...）となかなか運営していくのは大変なようです。

子育て支援のいい政策を打ち立て、たくさんのサークルを作らせたはいいが、それっきりというのでは、あまりにも無責任だし、「お役所の考えることは所詮目先のことでやりっ放しだ」と言われたくない、そんな思いもあるのですが、やっぱり少しでも困っている人の役にたちたい、そんな思いを強く持っているこの頃なのです。

私の今年度のテーマは「いいひと。」に決めました。頑張ります。

桑原 一司

### おしらせ

- ・3月の例会は、三村・浅利・桑原のスペシャルトリオのみのあつまりでした。ひじょーにさびしい！  
鱈ちり食いながらコンピューター談義に花を咲かせました。全道交流会の話もしたんだぞ！！
- ・4月の例会は、会長の都合により、中止させていただきました。すみません。  
5月は予定通り、16日の金曜日に幌北中央保育園で行います。  
全道男性保育者交流会まであと2カ月になりました。お好み焼きを食べながら、そんな話もしたいと思っています。  
今回は材料をまとめて購入し、実費負担にしようと思っていますので、出席できる人は早めに事務局まで電話してください。（ビールは持ってきてね！）。
- ・7月20～21日、保父の会でキャンプを予定しています。  
場所等は未定ですが、是非参加してください。参加できる人は、幹事（西村）迄連絡して下さい。
- ・新年度になり、フレッシュな保父が入ったという情報があったらお知らせください。そして例会に誘って来てください。  
仲間がどんどん増えるといいね。

事務局

001 札幌市北区北20条西3丁目19番地 幌北中央保育園内  
011-716-1841 Fax 011-716-1852

北海道の子どもと保父の会

Mail Address

hobby@hobby.jp  
Nifty VYG02402

